

職業教育カリキュラム開発手法 CUDBAS の普及と改良

森 和夫 (東京農工大学)

1. 問題関心

職業教育カリキュラムの開発は社会の変化、ニーズを素早く反映させて機動的に行われる必要がある。このための手法として開発した CUDBAS は今日、多くの場面で使用されるようになった。しかし、反面、この課題の整理ができていないために新たな展開に際して障害をもたらしている。ここではこの課題整理と改良への方向を明らかにしたい。

2. CUDBAS の概要とその特徴

クドバス (CUDBAS) CULliculum Development Based on Ability Structure は職業教育カリキュラム開発手法として 1990 年に開発した。

1989 年、プロッツ (PROTS) Progressive Training System for Instructor 指導技術訓練システムを開発したが、CUDBAS はその一部を構成している。この手法は「職業人に必要とされる職業能力の分析に基づくカリキュラム開発法」と言うことができる。従って、常に現実の仕事がどう動くか、どんな職業能力が求められるかを念頭に置いて行う。この手法は教育訓練や能力開発の最終仕上がり像 (到達目標) を小集団活動によって明らかにし、その組み合わせを検討して時系列に組上げ、カリキュラムを開発するものである。

CUDBAS 手法の特徴は他の職業教育カリキュラム開発法と比較して、カリキュラム開発が短時間でできること、カリキュラム開発プロセスがシンプルであること、小集団活動による意志決定のため独断が排除できること、作成者が第一人者であれば説得力があること、全てのプロセスが記録に残ること、こまめな改訂や変更に対応できること、CUDBAS 適用範囲が広いことが挙げられる。

3. 手法適用の普及状況

企業内教育では開発直後から自動車関係企業、電機製造企業などで導入され、研修プログラム開発に適用されてきている。社内マイスター制度にも適用している。2007 年問題にかかわって技能伝承活動ではほぼ全業種にわたって「技能マップ」作成ツールとして適用されている。業界団体としての能力開発プログラム開発でも機動的な研修コースの開発を行っている。

看護教育ではクリニカルラダー作成に活用して具体的な実践能力評価が可能となった。保健師教育では具体的な保健活動のプログラム開発に適用している。また、大学病院の機能評価に適用

している。医学教育では臨床研修医の指導医の研修プログラムとして採用され、「研修医と指導医とでつくる研修プログラム」として定着しつつある。歯科衛生士養成専門学校の 3 年制カリキュラムの開発を 3 ヶ月ほどで開発している。

生涯学習分野では子育て支援プログラムの開発に適用し、主婦や学生の参加によってそれらを豊かなものにする取り組みが行われている。

これら適用状況を整理すると次の 3 点になる。

CUDBAS 成果そのものを利用

今ある仕事内容やこれから開発する仕事の分析、研修プログラム、教育カリキュラムの作成、病院、教育機関などの施設評価項目の作成 CUDBAS 成果を加工して利用

クリニカルラダーの開発、CUDBAS 成果をチェックリストに変換して利用、研修用テキスト、教材の開発に活用、継続教育計画の立案、教育システムの確立に利用、人事考課、人材の処遇に利用、現有能力のチェックリスト作成、ウイークポイントの検索、職場の人材の能力評価、職能等級表の作成、人事配置、プロジェクト担当者の人選、人材の所有能力の検証と新規の事業戦略の立案、教育センターの施設計画、教育機材の整備計画に利用

CUDBAS 作業のプロセスを利用

問題解決手法として利用、研修に利用することで自らの仕事のとらえ直しや確認に利用

4. 適用範囲の拡大と普及に対応した改良と課題

このような普及状況は開発当初予定していた範囲をはるかに越えている。このため、使いやすい手法として位置づけられるにはこれらニーズに対応させた改良が必要である。これまでもある程度の改良は手がけてきてはいるが、まだ、課題は多くある。第 1 は適用目的別のマニュアル作成である。個々の適用目的に合わせたマニュアルを整備する必要がある。第 2 は手法の柔軟性へのニーズに対応することである。例えば、カード書き上げの方法やその解釈については画一的に扱わない柔軟性が求められる。第 3 は長期間のカリキュラム開発と短期間の研修プログラム開発というような教育計画の差違に対応した改良がある。第 4 に技能分析やマニュアル開発などのリンクを意図した手法上の優位点を高めるという課題に未だ応えていないことが挙げられる。

今後はより優れた手法として根づくかどうかこれらの課題解決にかかっていると断言できよう。